

トヨ子&としやの 市政報告

2017年
11月号
第27号

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2017年11月 1 日
連絡先：大垣市室本町 5 - 8
Tel 78-6865 Fax 73-8572



笹田トヨ子 建設環境委副委員長
子育て日本一対策委
Eメール sanba1@sasada-toyoko.jp
中田としや 議会運営委
経済産業委
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com



総選挙ご支援ありがとうございました

3議席獲得をめざした比例・東海ブロックでは1議席に後退、全国的にも20議席から11議席に後退しました。私たちの力不足を痛感します。しかし、岐阜2区でもピースハートの皆さんが応援に駆けつけてくださいましたように、「市民と野党」との共闘が全国的に取り組みられ、多くの選挙区で「市民と野党」の候補者が前進しました。選挙戦でつくられた「共闘の絆」「連帯の絆」を大切にしながら、本格的な市民と野党の発展をめざしてがんばります。 **大垣市議会議員 笹田トヨ子 中田としや**

2018年度予算省庁交渉

子供の貧困対策など「国への要望」を提出

10月24～25日、共産党と市民ネットワークの会派で、2018年度予算に対する「国への要望」のため、省庁交渉を行いました。

学習支援事業

大垣市の来年度予算要望の中で

「学習支援事業」について出しましたが、「生活困窮者を取り出して事業化することがむずかしい」という理由で、生活困窮者自立支援法に基づく学習支援事業には消極的でした。

しかし、厚労省生活困窮者自立支援室の担当者のお話では、補助率は限度額の1/2、必置事業ではないので細かい規制もなく、対象者・対象事業などそれぞれの自治体で決めているとのこと。全国で

対象となる802の自治体で500以上の自治体が学習支援事業を行っており、位置づけは学習塾ではなく学習環境を整えることで、訪問型も含まれるなど比較的自由に運用されているとのことでした。

給付型奨学金

30年度から本格実施

平成29年度から始まった「給付型奨学金制度」は、対象者を成績基準を設けるなどハードルが高く、子どもの貧困の連鎖を断ち切るためには、進学を希望する生徒は誰でも受けられるなど制度の拡充を

求めました。

文科省の育英奨学専門官の話では、意欲と能力のある学生等が経済的理由で進学等を断念することがないように、以下の充実を図るというもの。

・給付型奨学金について30年度から本格実施を行う。(29年度：280

0人→22800人)
・低所得世帯の子どもたちに係る無利子奨学金の成績基準の実質的撤廃。
・無利子奨学金の貸与人員の増員。
・「所得連動返還型奨学金制度」の確実な実施。(卒業後の所得に応じた返還月額を設定する。最低返還額は2千円から)

対象規模と予算額について

給付型奨学金の対象規模は29年度2800人に対して約2万人に増やす。無利子奨学金については、進学者15.1万人を想定している。

以上の内容を盛り込んだ概算要

国への要望事項

文部科学省

1. 学校施設環境改善交付金の増額について
2. 発達障害の切れ目のない支援について
3. 給付型奨学金の拡充について

厚生労働省

1. 発達障害の切れ目のない支援について
2. 特別養護老人ホームの増床について
3. 生活困窮者自立支援法の「学習支援事業」について

国土交通省

1. 地方鉄道の存続のための補助の拡大に関する要望

求は、29年度予算は15億円だったが、本格実施の30年度の予算規模は約220億円を要求しているとのこと。奨学金の拡充については大幅な前進が期待できそうです。

スカラシップ・アドバイザー派遣

高校生などが大学進学について、資金計画や経済的支援に関する知見を提供することで、進学後の経済的な状況等不安を解消するため、各教育委員会やPTA、進学説明会等に「スカラシップ・アドバイザー」を派遣すること、詳しいことはお問合せください。



9.28市長交渉で予算要望しました

中田
市議

経済産業委員会視察報告

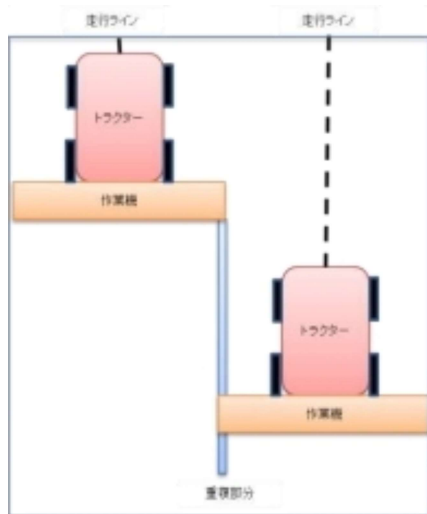
トラクターも自動運転時代

経済産業委員会として、北海道に視察に行きました。

視察先のテーマは、

- ・岩見沢市…ICT農業
- ・札幌市……農業支援センター
- ・函館市……中心市街地活性化です。

中でも、岩見沢市の情報技術を活用する「スマート農業」について紹介します。ロボットトラクターやオートパイロットを活用し、農作業の軽労化や、若者や女性が取



り組みやすい農業を目指した取り組みを行っていましたので、そのうち1つを紹介します。

田んぼには、田植えのために土を混ぜて平らにする代掻きという作業があるそうです。

その際、漏れのないよう、一部を重ねますが、その重複部分が大きいと非効率になってしまいます(体育館のモップがけのイメージです)。そこで位置情報を活用し、重複部分を数センチになるよう走行場所をセッティングし、自動で走行させ、燃料費を削減し、作業効率を上げる取り組みです。

日本共産党は、農業を基幹産業に位置付け、地域振興策の柱として振興するため、農産物の価格保障・所得補償の抜本的強化・新たな担い手を増やす取り組み強化を政策としています。

農業支援について皆様のご意見をお聞かせください。

国民の立場で真実を伝え続ける

しんぶん赤旗をお読みください。

日刊紙…3497円 日曜版…823円

ご注文は共産党地区委員会へ ☎78-6865

笹田
市議

建設環境委員会視察報告

公共交通の充実した
富山市を視察して

富山市は「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を推進しており、日本初の本格的LRTシステムを導入。この「富山ライトレール」は利用者の減少が続いていたJR富山港線を公設民営で蘇らせた線です。私たち視察メンバーは昼間の3時頃に愛称「ポートラム」に乗車、車内は観光客や高齢者で半分ぐらい占められていました。ダイヤは日中でも1時間に4本、朝夕の通勤通学時間帯は、

10分間隔で走ります。駅舎は無人駅で車内にアテンダントが配置されていました。車両は2両編成で降車時料金を払います。

富山ライトレールの整備は、運行間隔の改善、新駅の設置、低床車両の導入、バリアフリー化、ICカードの導入、アテンダントの配置などサービスが改善されています。運賃は一律で、大人200円、

小人100円、65歳以上の高齢者は100円となります。

富山ライトレールの整備で、JR時代と比較して、利用者が平日で約2.1倍、休日で約3.4倍と大幅に増加しています。日中の高齢者の利用が増えており、ライフスタイルの変化がうかがえます。

人口減少・超高齢化社会に入ってきて、そこに住む人々が、特に高齢者や子育て世代が安心して暮らせるまちを考えた場合、公共交通問題は避けて通れないテーマで、本市の場合大きく出遅れたという感想を持ちました。

トヨ子&としやの10月活動日誌

笹田トヨ子

【10月】

- 2日 養老鉄道
- 3日 社保協学習会
西濃議員団会議
- 4日 中野たけし街頭演説
決起集会
- 6日 菰野町視察
- 7日 福祉大会
- 8日 9条の会おおがき
- 10日 総選挙公示
- 11日 男女共同参画
- 17日 興文地区社会教育
- 21日 興文中70周年記念
- 22日 投票日
- 24～25日 国への予算要望
- 26日 発達相談
- 28日 興文地区センターまつり
- 30日～31日 建設環境委員会視察

中田としや

【10月】

- 1日 墨俣秀吉出世まつり
- 2～4日 経済産業委員会視察
- 5～6日 米原市選挙応援
- 7日 松元ヒロソロライブ
- 8日 9条の会おおがき総会
- 9日 みおミントン
- 10日 衆院選告示
- 14日 江東地区交通安全大会
- 22日 投票日
- 23日 議会だより編集委員会
- 24～25日 省庁予算要望
- 27日 放課後デイサービス訪問
- 30日 大垣警察市民監視事件
裁判傍聴

テーマは地方議会議員！
テレビドラマ余聞

秋の月9の新ドラマで、「民衆の敵」が放送されています。テーマが地方議会議員であり、録画予約しています。

コメディタッチのエンターテインメントドラマらしく、第一話の選挙編では「選挙期間中に立候補し当選」(※立候補は告示日しかできない)など、突っ込みどころも多くありつつ、待機児童問題や女性の政治参加の問題について触れ、「世の中、おかしくないですか!？」と決め台詞を放つ主人公。ドラマが少しでも政治に興味を持ってもらえる入り口になるといいなと思います。(中田)